

2022年10月31日

## 国際原子力機関（IAEA）との共同事業の 一環として実施する海洋試料採取について

我が国では、日本の海域モニタリングデータの信頼性や透明性の向上のため、国際原子力機関（IAEA）との協力により、2014年から分析機関間比較事業を実施しています。この事業は、東京電力ホールディングス株式会社福島第一原子力発電所近傍の海洋試料をIAEAと共同で採取し、IAEA及び日本の各分析機関が個別に分析を行い、IAEAが分析結果を比較評価するものです。

また、本年から、東京電力ホールディングス株式会社福島第一原子力発電所におけるALPS処理水の安全性に関するIAEAのレビューの一部として、我が国で行われているALPS処理水に係る海域モニタリングの結果の裏付けを行うため、同様の手法でIAEAが比較評価することとなりました。

本年は、11月7日から14日にかけて、IAEA海洋環境研究所の専門家に加え、この事業の更なる透明性向上の観点から、ALMERA<sup>1</sup>のメンバーであるフィンランド及び韓国の分析機関の専門家も来日し、試料採取及び前処理を確認することになりましたので、お知らせします。

分析機関間比較事業は、東京電力ホールディングス株式会社福島第一原子力発電所の廃炉について、2013年度にIAEAがとりまとめた報告書<sup>2</sup>に記載された海洋モニタリングに関する助言のフォローアップとして開始されたプロジェクトの一環です。

なお、本件に関するIAEAのプレスリリース（英文）は以下URLに掲載予定です。

URL: <https://www.iaea.org/press>

### 記

#### 試料採取等の日程

- ・ 11月7日（月）～8日（火） 海水及び海底土の試料採取
- ・ 11月9日（水）～11日（金） 水生生物及び水産物の試料採取及び前処理
- ・ 11月14日（月） 海底土試料の前処理

<sup>1</sup> ALMERA (Analytical Laboratories for the Measurement of Environmental Radioactivity) は、IAEA によって 1995 年に設立された国際的な分析研究所の協力ネットワーク。(<https://nucleus.iaea.org/sites/ReferenceMaterials/Pages/ALMERA.aspx>)

(注)

- ・ 上記日程は、現時点での見込みであり、天候等により変更等の可能性があります。
- ・ 海水・海底土・水生生物の試料採取に関連した現地における特段の取材対応の予定はありませんが、試料採取等の模様を後日公開する予定です。

<sup>2</sup> IAEA INTERNATIONAL PEER REVIEW MISSION ON MID-AND-LONG-TERM ROADMAP TOWARDS THE DECOMMISSIONING OF TEPCO' S FUKUSHIMA DAIICHI NUCLEAR POWER STATION UNITS 1-4 (Second Mission)

([https://www.iaea.org/sites/default/files/IAEAfinal\\_report120214.pdf](https://www.iaea.org/sites/default/files/IAEAfinal_report120214.pdf))

<sup>3</sup> 2021年実施分の報告書は、IAEAのホームページで閲覧することができます。また、IAEAが作成した本事業の紹介動画についても閲覧することができます。(下記URL参照)

- ・ 報告書：

[https://www.iaea.org/sites/default/files/22/06/2022-06-21\\_japan\\_ilc\\_2021\\_report\\_v4.2.pdf](https://www.iaea.org/sites/default/files/22/06/2022-06-21_japan_ilc_2021_report_v4.2.pdf)

- ・ 紹介動画：

<https://www.iaea.org/newscenter/multimedia/videos/the-fukushima-data-checkers-monitoring-the-monitors>

以上

《担当》

原子力規制庁 放射線防護グループ 監視情報課

担当：佐々木、二宮、西下

電話：03-3581-3352(代表)

03-5114-2125(直通)